

修了生の活躍事例

ポリテクセンター

“楽しかった”です！

母が勤務する鉄工所の手伝いをしていました。工場では大きい物を溶接で作っていましたが、「火花がすごい！ かついい！ 職人すごい！」と思い、溶接に興味を持ちました。

ポリテクセンターに入ると、同じ目標を持ったクラスメートと競い合いながら溶接の技術を磨くことができました。溶接の出来が納得できないときは辛かったですが、原因を考えて練習を積み、上手くできた達成感は大きく、溶接が好きになりました。

就職先は、指名求人制度で決まりました。

就職先は、ポリテクセンターで実施している指名求人制度で決めました。担当の先生から、私に興味を持ってきている会社があると教えてもらい、面接に行くことになりました。社長が自らポリテクセンターに来てくれたことを後から聞き、必要とされている熱意を感じ入社を決めました。



株式会社 ジョーニシ

奥野 琉衣希さん 男性 (21)

製造 溶接部門として採用

[⇒ 前職 : 食品製造業 (正社員)]

溶接施工科

平成30年 11月 入所

平成31年 4月 修了



東京スカイツリーのような大物にもチャレンジしたい！

ポリテクセンターでは、溶接中の金属が溶けている状態（溶融池）が非常に大切であることを学び、現在の仕事にも役立っています。また、未経験から5つの資格を取得することができました。就職した今も、新しい資格へのチャレンジを考えています。

ポリテクセンターの訓練を受けることを考えている方は、集中してちゃんと学ぶことをおすすめします。ここでしっかり学ばないと後々苦労するのは自分であることがよく分かりました。

就職先企業での活躍

奥野 琉衣希さんの業務

半自動溶接を用いた建設機械、農業機械の溶接工程に携わっています。現在はショベルカーのバケット（厚さ16mm程度）製造に携わっています。



採用者の声



工場長 清積 義秀 様

溶接が好きな方は技術力の成長も早いと、溶接が好きで基礎が身に付いている即戦力となる人材を希望していたところ、ポリテクセンターの人材がマッチしました。

入社いただくと元気がよく、返事もハキハキとしていて作業場内の空気も明るくなりました。ポリテクセンターで基礎をしっかり学んでいたため、仕事覚えも早く、現在も溶接工程の第一線で活躍してもらっています。

株式会社 ジョーニシ (滋賀県甲賀市)

日本のモノづくりを支える製造メーカーとして、農業用機械やホームセンター用什器を「開発・製造・販売」まで一貫して行っています。お客様視点に立ったモノづくりを実現するため、固定概念に囚われず、常に新しい発想を持って、世の中に必要とされる製品の開発に取り組んでいます。

社員一人一人が成長していける職場づくりに励んでいます。そして、アットホームな社風から生まれる団結力を武器に、迅速かつ丁寧な仕事を心掛けています。年齢や、役職、部署間との隔たりがなく、誰とでも話しやすい風通しの良い会社です。

